

令和3年度 予算賛成全員で成立

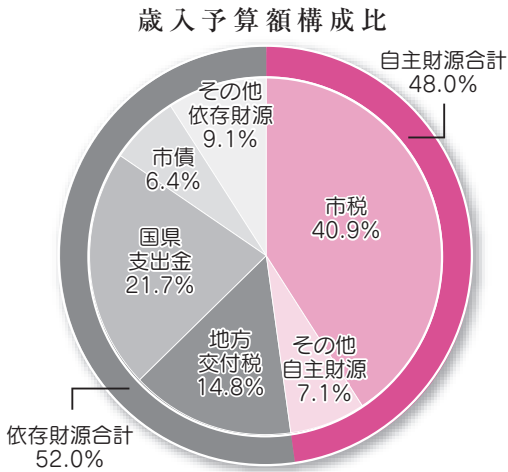
一般会計 154億1,000万円

歳出

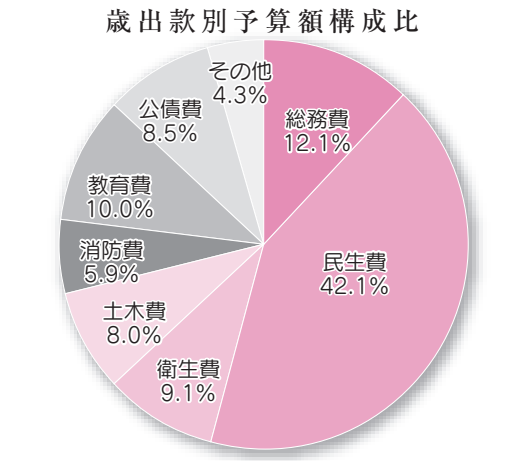
構成比では民生費が42.1%を占め、総務費、教育費が続く。主な事業は、新生児聴覚検査費用の助成、小中学校のICT環境の整備、第2保育所周辺道路の整備、ハザードマップの更新、市内循環バスの運行など。

一般会計

歳入構成



歳出構成



歳入

歳入総額は前年比3億9000万円(2.5%)減
市税は前年度比4.9%減の63億362万円

令和3年 3月定例会

令和3年3月定例会は2月22日から3月19日までの26日間の会期で開かれました。今定例会では、条例改正案9件、補正予算案6件、令和3年度一般会計予算案など予算案8件、人事案件1件、議員提出による規則改正案1件が提出されました。いずれも原案のとおり可決・同意しました。

一般質問では、13人の議員が市政をただしました。

また、それ以前の2月9日に開かれた臨時会において、新型コロナウイルスワクチン接種事業に関する補正予算案1件が可決されました。

歳出性質別 (単位：千円)

区分	項目	予算額	小計(割合)
義務的経費	人件費	3,020,062	8,264,911 (53.6%)
	扶助費	3,932,758	
	公債費	1,312,091	
投資的経費	普通建設事業費	207,326	1.4%
その他経費	物件費	2,713,571	6,937,763 (45.0%)
	維持補修費	81,415	
	補助費等	2,293,830	
	繰出金	1,782,868	
	積立金	4,578	
	貸付金	31,501	
	予備費	30,000	
合計		15,410,000	

※繰出金とは一般会計から各特別会計等に繰出す支出

特別会計

特定の収入を特定の事業のために使う会計

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	5,830,790千円
後期高齢者医療特別会計	711,396千円
介護保険特別会計	4,147,370千円
農業集落排水事業特別会計	33,550千円
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	244,012千円
合計	10,967,118千円

(水道事業および公共下水道事業を除く)

令和3年3月定例議会
本会議議案質疑内容

(議案第4号)
幸手市介護保険条例の一部
を改正する条例について

質疑

1. 市町村特別給付の実施に至った理由について伺います。
2. 第8期介護保険事業計画における基準保険料額の値上げとなった主な要因について伺います。

答弁

1. 令和2年11月9日付、厚生労働省の事務連絡において、令和3年4月からの第8期介護保険事業計画期間においては、従来の支給対象者のうち、市民税が本人課税されている対象者については地域支援事業の対象外と通知されたところです。

紙おむつ支給事業は、家族の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、在宅介護を守り、介護離職防止にも役割を果たしてきたことから、地域支援事業の対象外のものについても継続し

て紙おむつが支給できるよう、介護保険法第62条に規定する市町村特別給付として位置づけ、実施することにしたものです。

2. 第8期介護保険事業計画期間での保険料については、基準月額を第7期の4千509円から2千13円値上げとなる。先ほど議員も言われた4千722円に改定するものです。保険料が値上げとなる主な要因については、高齢化率が今後も上昇していくことが見込まれる中で、令和3年度から令和5年度までの第8期事業計画期間中には、75歳以上の後期高齢者人口の割合が65歳から74歳までの前期高齢者人口の割合を上回ることが予想されており、

後期高齢者数の増加に伴い、要支援・要介護認定者も増加し、介護サービスの需要がさらに高まることにより、今後3年間で必要となる介護サービス量を見込んだことで、介護給付費が増加したことが主な要因となるものです。



(議案第4号)
幸手市介護保険条例の一部
を改正する条例を可決

反対討論

大平 泰二

介護保険特別会計の実質的基金は7億5千万円とみることもできます。これだけの基金を貯めこみながら介護保険料の引上げを行うことは認められませんが、第8期介護保険事業計画では、令和7年を目途として高齢者が自立した生活を可能な限り続けられるよう、地域包括ケアシステムを構築することを求めています。不十分です。

(議案第15号)
令和3年度幸手市一般会計
予算を可決

賛成討論

坂本 達夫

歳入では、市税が前年度に比べ3億2千246万1千円の減となり、歳入予算のうち自主財源の割合は48・0%となり、前年度51・1%よりも3・1ポイント低下し、市の苦しい財政状

況が伺える。

こんな中で市は、昨年3月に実施した公共交通アンケート調査において、回答者の73・9%の市民が支持した循環バスを令和4年1月から復活させる。これは市民にとって利用しやすい公共交通の実現であり、高く評価する。

また、新年度に新たな組織を作り、現行の公共施設等総合管理計画を改訂し、計画的な公共施設等の更新、統廃合、長寿命化を行う。特に、過去に建設された施設が一齐に更新時期を迎えるが、これらすべてを維持、更新することは財政上できない。計画的な公共施設等の統廃合は、理にかなった対策といえ、期待したい。

賛成討論

大平 泰二

平成30年当時は繰入金・繰越金合計26億8千421万3千円の予算計上がされていました。その後、駅舎建設、駅西口土地区画整理、古川橋架け替え建設工事に62億円以上も予算を注ぎ込んだ結果、令和3年度の繰越金・繰入金の合計は5億9千397万円に落ち込んだ

でしまいました。厳しい財政を立て直しを求め賛成討論といたします。

賛成討論

武藤 壽男

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に始まり収束が見えない状況であり、地方経済は不透明感の中にあります。

こうした中で、本市では駅舎整備事業等の一部終了した大型事業もあったことにより、基金残高が最低水準に落ち込み、また市税も4・9%減の63億円に減少するなど厳しい予算編成となり、財源不足については臨時財政対策債で賄いました。

従って、投資的経費である普通建設事業費は2億7千万円と過去最低となりましたが、扶助費を始めとする義務的経費は予算総額の54%の83億円を計上致しました。

この様な厳しい時代だからこそ、職員の皆さんには公務員としての責任と自覚をもって、英知を結集され創意と工夫により、市政の進展を期待し賛成討論と致します。

賛成討論

枝久保喜八郎

当市は県内屈指の財政窮状自治体ではあるが、市内循環バスの復活構想予算では、市民に寄り添う姿勢が示され、議会と市民の想いに市政が応える二元政治の理想の姿となった。また、地域問題解消策の一例として、香日向排水機場メンテナンス実施予算は、同場の管理責任に対する市の意向と理解できる。

歳入面では、落ち込んだ財政調整基金から2億5千万円の繰入や、禁じ手と言われる臨時財政対策債を、前年度比38%増の9億4千万円投入する手法に、若干の不安を感じるが、コロナ対策の観点からも財政編成上やむを得ない事情と理解する。今後は、人口減少による減収も現実と思われ、当市を取り巻く行政課題や環境をふまえ、新たな一年に向け、職員一丸となって新たなスタートを切っていたいくことを期待したい。



人事案件

教育委員会教育長

山西 実氏

を任命することに同意しました。

3月定例会 会期日程

- 2月22日（本会議）
 - ・ 開会・会期の決定
 - ・ 報告事項
 - ・ 市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 2月24日・25日・26日（本会議）
 - ・ 市政に対する一般質問
- 3月4日（本会議）
 - ・ 議案に対する質疑
 - ・ 議案の委員会付託
- 3月5日（委員会）
 - ・ 文教厚生常任委員会
- 3月9日（委員会）
 - ・ 総務常任委員会
- 3月11日（委員会）
 - ・ 建設経済常任委員会
- 3月19日（本会議）
 - ・ 委員長報告、質疑、討論
 - 採決
 - ・ 閉会

3月定例会の議会運営について

幸手市議会においては、新型コロナウイルス感染症への対応を図るため、次の取組みを実施致しました。

- 「一般質問」の議員1人あたりの質問時間をこれまでの「45分以内」から「30分以内」に短縮。
- 本議会、委員会等における理事者の出席を最小限にし、出席者の座席の間隔を保持。
- 本議会、委員会等では、マスクを着用。
- 本議会場、委員会室での2方向からの換気を実施。
- 傍聴席の座席の間隔を保持。
- 議場・委員会室の亚克力板および加湿器を設置。